



H29年 2月定例岡山県議会にて

# 県議会だより

OKAYAMA

Vol.2

## 県議会議員活動 取り組みの様子



H28.4.6「春の交通安全 県民大会」(津山リージョンセンターにて)  
 H28.4.11 津山警察署津山駅前交番開所式  
 H28.5.5 岡山県戦没者慰霊祭(岡山県護国神社にて)  
 H28.5.21 山本雅彦県政報告会(津山市総合福祉会にて)  
 H28.5.25 「人とくまのテクノロジー展」パシフィコ横浜展示ホールにて  
 H28.7.11 県内調査 真庭市銘建工業CLT工場  
 H28.7.12 県内視察「津山まなびの鉄道館」  
 H28.7.18 「お滝まつり」(津山市阿波 布滝にて)  
 H28.8.3 静岡県警本部視察  
 H28.8.4 県外視察「リニア館」  
 H28.8.4 県外視察「富士山世界センター」  
 H28.8.8 香川県議会との親善野球大会(倉敷マスカットスタジアムにて)  
 H28.8.26 香川県議会との親善野球大会(倉敷マスカットスタジアムにて)  
 H28.8.28 RSKテレビ出演 テーマ「地域防災」  
 H28.9.22 おからく津山支所共進会  
 H28.10.4 県内視察 実作市「NODAレーシングアカデミー」  
 H28.10.8 「日本大学 校友会」(岡山ロイヤルホテルにて)  
 H28.10.9 つやま市民スポーツ祭 津山市 宮地市長と  
 H28.10.12 知事選応援(津山リージョンセンターにて)  
 H28.10.23 「津山まつり奴」(奴通りにて)  
 H28.10.26 県外視察 青森県弘前市役所  
 H28.11.6 「第27回津山城東むかし町」  
 H28.11.8 稲田防衛大臣と(大臣室にて)  
 H28.11.12 津山商業高校「第8回 津商モール」  
 H28.12.3 岡山湯郷Belle ファン感謝祭  
 H28.12.15 「美作国商工団体連絡協議会」(津山鶴山ホテルにて)  
 H29.1.18 OTEX「おかやまテクノロジー展2017」(コンベックス岡山 サイバータイム社 プースにて)  
 H29.3.4 交通安全体験フェア in 岡山県運転免許センター

山本先生並びに皆様方には、県政の推進にあたり格別のご理解とご協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

昨年、皆様にとさらなるチャレンジのチャンスをおたたくため、岡山をもっと住みやすく元気な県にするため、力の限りを尽くしております。先般の県議会では、「新晴れの国おかやま生き生きプラン」の議決をいただきました。この新プランを県政推進の羅針盤とし、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に全力で取り組んでまいります。

山本先生におかれましては、県議会において、産業労働警察委員会副委員長として、産業の振興と県民の安全・安心のため尽力されるとともに、常に地域の立場に立って、地域の皆様の声を県政に届けていただいております。心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

今後とも、津山市並びに鏡野町、勝央町、奈義町、そして岡山県の発展のため、先生の力強いご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、山本先生の益々のご活躍、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



岡山県知事 伊原木 隆太



岡山県議会議員 山本 雅彦

こんにちは、山本雅彦です。

皆様にはご清業にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より、私の政治活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

初当選以来早くも2年が経過いたしました。県北津山圏域の振興発展、福祉の向上を目標に、おかげさまで元気に活動しています。

課題は山積です。何と言っても、人口減少に歯止めをかけるなくてはなりません。若人が生まれ育った地元で、就職し結婚する。そして、良い環境の下、しっかりと子育てが出来る。好循環のサイクルを確かなものにしてはなりません。そのためには、やはり産業の振興が欠かせません。地域の強みを活かした農林産物のブランド化、工業製品の競争力を高め出荷額を伸ばす。また、眠っている観光資源をもう一度見直し、磨きをかけて、情報発信による観光客の呼び込みに努めます。地域の稼ぐ力のアップ。それぞれの分野の専門の方々を連携し、地域経済活性化に取り組めます。県北の発展なくして岡山県の発展はありません。

岡山県にそして津山に生まれ、住んで良かった。そう思える岡山創生の実現、みんなで頑張ってください。



津山城「ハート」の石

### 発行 / 山本雅彦

〒708-0036 岡山県津山市南新座34  
 TEL.0868-32-2922 FAX.0868-32-2955  
 E-mail masa-yama55@tenor.ocn.ne.jp

発行日 / 平成29年3月31日

ホームページを開設しました!

<http://www.masahiko-y.jp>

教育県岡山の復活【92億円】

- 学力向上プログラム【85億円】
  - 岡山県学力・学習状況調査
  - 教師業務アシスタントの配置事業
  - 小学校における不登校・長期欠席対策事業
- 徳育推進プログラム【4億円】
  - 学校警察連絡室活動の更なる深化事業
- グローバル人材育成プログラム【3億円】
  - 岡山の高校生留学支援事業
  - 中学生英語4技能育成研究事業
  - 英語指導パワーアッププロジェクト

地域を支える産業の振興【475億円】

- 企業誘致・投資促進プログラム【248億円】
  - 戦略的企業誘致の推進
  - 水島港機能強化事業
- 企業の「稼ぐ力」強化プログラム【50億円】
  - 中堅企業成長支援モデル事業
- 観光振興プログラム【10億円】
  - おかやまハルシロキャンペーン事業
  - 公衆無線LAN環境整備推進事業
- 企業の「稼ぐ力」強化プログラム【50億円】
  - 中堅企業成長支援モデル事業
- 攻めの農林水産業育成プログラム【158億円】
  - ぶどうの供給力強化緊急対策事業
  - シカイノシシナル生息状況調査事業

安心で豊かさ実感できる地域の創造【634億円】

- 保健・医療・福祉充実プログラム【119億円】
  - 幸福な長寿社会実現事業
- 子育て支援充実プログラム【31億円】
  - 子ども・子育て支援環境の充実
  - 子どもの未来を応援する環境づくり事業
- 中山間地域等活力創出プログラム【45億円】
  - 中山間地域等活力創出特別事業
- 結婚・妊娠・出産応援プログラム【7億円】
  - 結婚・出産サポート
- 防災対策強化プログラム【292億円】
  - 支援物資物流体制強化推進事業
  - 県庁舎耐震化整備事業

★詳しくは岡山県ホームページをご確認ください。

### 現在の役職

◎産業労働警察委員会 副委員長 ◎総合計画・行財政改革特別委員会 委員  
 ◎岡山県交通安全対策協議会 委員

### 所属議員連盟

◎岡山県建設技術議員連盟 幹事 ◎岡山県学術振興議員連盟 幹事 ◎次世代に誇れる児島湖・湾を考える議員懇談会 ◎岡山県森林・林業活性化促進議員連盟 ◎さわらの会 ◎北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を図る岡山県議員連盟 ◎がんばれ!フアンアール岡山県議会応援団 ◎安全・安心の岡山づくり推進議員連盟 ◎岡山県スポーツ振興議員連盟 ◎がん対策推進岡山県議員連盟 ◎岡山湯郷Belle県議会サポーターズ ◎岡山シエールズ県議会サポーターズ ◎鳥取・岡山県境議員連盟 ◎FC吉備国際大学Charme県議会サポーターズ ◎難病対策岡山県議員連盟 ◎書道岡山県議員連盟

### 山本雅彦プロフィール

●生年月日:昭和34年5月30日 ●所属政党:自由民主党員  
 ●所属:津山青年会議所(津山JC) 特別会員、元津山市観光協会青年部会員  
 ●学歴:昭和50年3月 久米郡中央町立加美中学校卒業、昭和53年3月 岡山県立津山高等学校卒業、昭和57年3月 日本大学経済学部経済学科卒業  
 ●職歴:昭和57年4月 第一生命保険相互会社入社、昭和59年4月 富士岡山運搬機株式会社入社、昭和60年10月 津山セントラルホテルへ配属、昭和63年6月 あいさわ一部後援会事務所入所 私設秘書となる。平成14年10月 衆議院議員連立一部公設第2秘書採用。平成16年8月 衆議院議員連立一部公設第1秘書採用。平成27年4月に岡山県議員に初当選  
 ●家族:妻 ●血液型:B型 ●星座:ふたご座 ●座右の銘:「畏天敬人」  
 ●趣味:読書(歴史小説・スライ小説)、ラーメン食べ歩き、スキー、ゴルフ

# 9月議会質問

## 使用済家電製品等の野積みについて

〔業者名簿の把握〕

資源の乏しい我が国において、国内で加工回収されるメタルは唯一と言ってよい程、我が国の貴重な資源だ。国と行政がしっかりと管理することが重要だが、不用品回収業者が、使用済家電製品等を野積みしているケースが数多く見受けられる。野積みしている業者名、場所、箇所数等を把握しているのか、環境文化部長に伺いたい。

〔環境文化部長答弁〕

まず、業者名等の把握についてですが、家庭から排出される一般廃棄物関係業務は市町村の所管業務であり、ことから、業者名、場所、箇所数など十分な把握はできておりませんが、昨年度行った調査によると、20市町村において、不用品回収業者の存在が確認されており、県では、指導権限を有する市町村と合同の立入検査等を行いながら、実態の把握に努めていると伺っています。

〔早急な是正〕

家電リサイクル法や小型家電リサイクル法が施行されているにもかかわらず、不用品回収業者は、家電製品等を数多く野積みした状態で保管している。環境保全・美観の観点からも早急な是正が必要だが、所見を伺いたい。

〔知事答弁〕

早急な是正についてはありますが、不用品回収業者が、有害物質の飛散防止や保管場所の囲い設置等の措置をとることなく野積み保管している場合には、有害物質の流出や火災発生等の恐れがあるとともに、美観や事故防止の点でも問題があることから、一般廃棄物業務を所管する市町村と連携し、違法な不用品回収業者へ指導を行うなど、是正に努めているところであります。

〔市町村への指示〕

国から「使用済家電製品の廃棄物該当性の判断について」の通知があったが、県ではどんな実効性のある指示を市町村に行ったのか、環境文化部長に伺いたい。

〔環境文化部長答弁〕

お話を国の通知は、野積みなど複雑な扱いがなされている家電を廃棄物として認定した上で、必要な措置を講ずることを求める内容であります。市町村に対しては、担当職員を対象とした研修会を開催し、通知内容の周知とともに、廃棄物処理法に基づく立入調査や、違法行為への指導事例も説明し、不用品回収業者を適正指導するよう指示したほか、違法な回収業者を利用しないよう住民に注意喚起することも促したと伺っています。

# 2月議会質問

## 林業の振興について

〔取組状況等〕

本県は、県北地域を中心に品質の高い美作材が産出され、特に高級建材であるヒノキは生産量日本一として有名だが、その滞在力を引き出すための対策が必要だ。市場からの収益が山元に還元されないことが課題の一つであり、県内自治体の広域的な連携強化を支援し、お金が循環するしくみを作る施策が必要だが、取組状況と所見を伺いたい。

〔知事答弁〕

取組状況等についてですが、充実した森林資源を活用し、地域の活性化につなげるためには、森林所有者まで収益が還元される生産性の高い林業を実現することが重要であると考えております。このため、県では、津山市など県北5市町村と連携し、森林資源の利活用を核とした地域の活性化を目指す国のモデル事業に取り組みするよう、昨年12月から協議を進めており、こうした取組を通じて広域的な連携強化を図り、市町村、林業、木材産業関係者等と一体となつて林業の成長産業化に向けて取り組んでまいりたいと存じます。

〔美作材輸出振興協議会への支援等〕

津山圏域では、美作材輸出振興協議会が中心となつて、昨年8月韓国にアンテナショップをオープンし、美作ヒノキのPRに取り組んでいるが、協議会にとの協力は考えているのか。また、この施設を有効活用する取組は考えているのか。アンテナショップのオープニングに津山市長と参加した宮地副知事に、その時の手ごたえと感想と併せて伺いたい。

〔副知事答弁〕

現在、協議会において、広域的な会員拡充や、会員所在市町村に支援を働きかけており、県としては、こうした取組を積極的に後押しするとともに、引き続き、アンテナショップの運営費等を支援することとしております。また、昨年の訪韓では、健康志向等に伴う県産ヒノキに対する関心の高さを実感したところであり、今後の販路拡大に大いに期待を持ったところであります。紹介した韓国向け動画の作成や、韓国における消費者の嗜好や木材関係事業者の商品需要の調査分析を行っており、こうした取組を活用するなど、韓国でのPRを積極的にを行い、一層の輸出拡大につなげてまいりたいと存じます。

## 有害鳥獣対策について

〔防護柵設置への支援等〕

林業の振興に併せて考えるべき課題に有害鳥獣の対策

## 不適正業者規制の条例制定

鳥取県では、使用済物品回収業者の届け出や、家電製品等の保管の適正化などを求める条例が制定、施行されている。本県でも資源の確保・環境保護、廃棄物の適正処理、火災や犯罪防止の観点から、一歩も二歩も踏み込んだ不適正業者規制の条例を制定すべきだが、所見を伺いたい。

〔知事答弁〕

この問題は、廃棄時にリサイクル料金を負担する制度であるため、料金不要と宣伝する業者に消費者が回収を依頼してしまうことや、リサイクル法では家電の小売業者やメーカー以外への引渡しが禁止されていないことなど、制度上の問題による部分が大いと考えております。このため、まずは使用済家電製品が本来のリサイクルルートで処理されるよう、国に対して制度の見直しを強く要望していきたく考えますが、県としても、引き続き、市町村と連携した業者指導の強化等に努めるとともに、県独自の条例の制定についても、他県の状況等も参考にしながら、研究してまいりたいと存じます。

## 自転車保険の加入について

自転車保険の加入の推奨や義務付けに関する条例を制定する自治体が増えており、自転車保険の加入促進について早急に検討すべきだ。知事は平成27年6月議会において、自転車マナー向上や保険加入促進に取り組みと答弁したが、その後の進展状況について伺いたい。

〔知事答弁〕

自転車の交通事故防止には、まずは、利用者の安全意識の向上が重要であることから、県では、今年5月に岡山大学の学生が自転車マナー向上を街頭で呼びかけるなど、啓発に取り組みしております。また、お話のとおり、自転車に乗っている人が重大事故の加害者になることもあり、被害者の十分な救済のためにも自転車保険が有効であること認識しております。このため、先般策定した第10次岡山県交通安全計画に、その加入促進について新たな盛り込むとともに、引き続き、加入を促すリーフレットの中高校生への配布や講習会等での周知を行っているところであります。今後とも、関係機関と連携し、自転車マナーの向上を図るとともに、保険制度の周知と加入促進に、積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

## アルコール健康障害対策について

〔所見等〕

今年5月にアルコール健康障害対策推進基本計画が閣議決定された。都道府県の推進計画の策定を促すものであり、今後の地域展開と推進体制の構築が大切だ。アルコール依存症は治療が必要な病気だという啓発活動が求められている。また、依存所と戦うための断酒会も活動している。アルコール依存症と今後のアルコール健康障害対策の推進について、所見を伺いたい。

〔農林水産部長答弁〕

集落全体を囲む集落柵が、被害防止に効果的であることから、国庫補助事業及びそれを補充する県事業により、設置を支援しているところであり、今年度予算の執行状況については、要望があつたもののうち、採択要件に合致した15市町村84地区の事業を全て採択し、9584万円を執行する見込みであります。

〔シジメ振興〕

増え続ける有害獣を地域資源として活用するシジメ振興について、将来的には県北数か所に処理加工施設を造り、地域の稼ぐ力にしなければならぬが、所見を伺いたい。また、こうした広域的な取組を具体的に進める原動力となること県なるべき姿だが、併せて所見を伺いたい。

〔知事答弁〕

捕獲数を地域資源として活用することは、地域活性化の観点から重要であるため、これまで、首都圏でのPRや商品開発の支援などを行ってきたところであり、来年度からは、おかやまジビエの全県的PRや販路開拓活動の支援に取り組みすることとしております。また、市町村が連携した広域的な取組は、施設の効率的な運営などに有効であり、市町村との連絡会議等において、他県の取組事例、施設整備等に関する情報提供や意見交換を行い、広域的な取組を促してまいりたいと存じます。

## 中山間地域への対応について

〔これまでの取組等〕

県北部を中心に過疎化、高齢化が進み、耕作放棄地の拡大をはじめ集落機能の低下といった現状がみられる。いかにこの集落機能の低下を食い止めるか、そしていかに地域の再生につなげるかが大きな課題だ。これまでの中山間地域への取組と新年度の特に力点を入れる取組、施策を伺いたい。

〔知事答弁〕

集落機能の維持強化を図るおかやま元気集落や、人工減少に歯止めをかけるための生き生き拠点形成など、フットホールド両面から、総合的に取組を行ってきたところ。新年度につきましては、元気集落の取組拡大や自立促進、生き生き拠点形成促進、地域おこし協力隊など「ワカモノ・ヨソモノ」の新たな視点による地域課題の解決、移住・定住の促進などに重点を置いて、市町村と連携を図りながら、中山間地域の活力創出にしっかりと取り組んでまいります。

## 中山間地域への県職員の配置

高知県では、県職員を市町村に配置し、自主的な活動

〔知事答弁〕

不適切な飲酒によるアルコール健康障害は、本人だけでなく、家族への深刻な影響や重大な社会問題を生じさせるおそれもあり、行政、警察、保健医療関係者、支援団体、酒類関連事業者などが連携し、社会全体で対策に取り組みすることが重要であると考えております。このため、県民に対する知識の普及や啓発や相談支援を行ってきたところであり、今後とも、関係機関とのさらなる連携強化に努めるとともに、来年度、アルコール健康障害対策推進のための県計画を策定してまいりたいと考えております。

〔相談窓口の現状等〕

アルコール依存症は、家族はもとより一緒に戦う仲間が必要で、県内では主要な五つの断酒会が、会員が励まし合い、家族や友人、協力者と一緒に活動している。アルコール健康障害の相談窓口の現状と今後の相談体制の具体的展開、断酒会への支援について、保健福祉部長に伺いたい。

〔保健福祉部長答弁〕

相談窓口の現状等についてですが、県では精神保健福祉センターや保険所において、当事者や家族からの相談に応じるとともに、医療機関や支援団体を紹介するなど、相談者の状況にあわせ、丁寧に対応しているところであり、また、昨年度から開始したアルコール依存症の正しい知識を持ち、相談窓口の紹介等ができるアルコール関連問題協力隊の養成を進め、体制を強化し相談ができ、必要な支援に繋げられる体制を強化してまいりたいと存じます。断酒会については、会主催の相談会に職員が出席するなど、連携を深めているところであり、今後も啓発や相談等における協力により、自助組織の活動を支援してまいりたいと考えております。



〔知事答弁〕

人口減少や高齢化の進行が大きな課題となっている中山間地域のニーズを的確に把握し、課題解決を図ることは重要であると考えております。このため、各県民局の地域づくり推進課に市町村ごとの連絡調整担当者をおくるとともに、昨年度からは、おかやま元気集落の取組などをサポートする支援員を配置し、地域や集落の状況の把握や助言等を行っております。こうしたことから、高知県のよろうに市町村へ県職員を配置することは考えておりませんが、引き続き、市町村等と十分に連携しながら、地域のニーズや課題に応じた、きめ細かな施策の実施に努めてまいりたいと考えております。

## メガソーラーの設置について

〔設置計画の件数等〕

太陽光発電は低炭素社会実現の切り札の一つだ。住宅用や防災拠点施設の機能強化のための導入も重要で、地域分散型エネルギーセキュリティ確保への積極的な取組を応援したいが、太陽光パネルの取組により関連企業倒産急増との新聞記事もある。現在、県が把握している県内でのメガソーラー設置計画はどのくらいあるのか、その件数と規模について、環境文化部長に伺いたい。

〔環境文化部長答弁〕

まず、設置計画の件数等についてですが、国が公表している固定価格買取制度に関するデータによると、既に国の認定を受けている未稼働の太陽光発電設置のうち、1千キロワット以上のいわゆるメガソーラーは、平成28年10月末現在で、全県で277件、約1564MWとなっております。

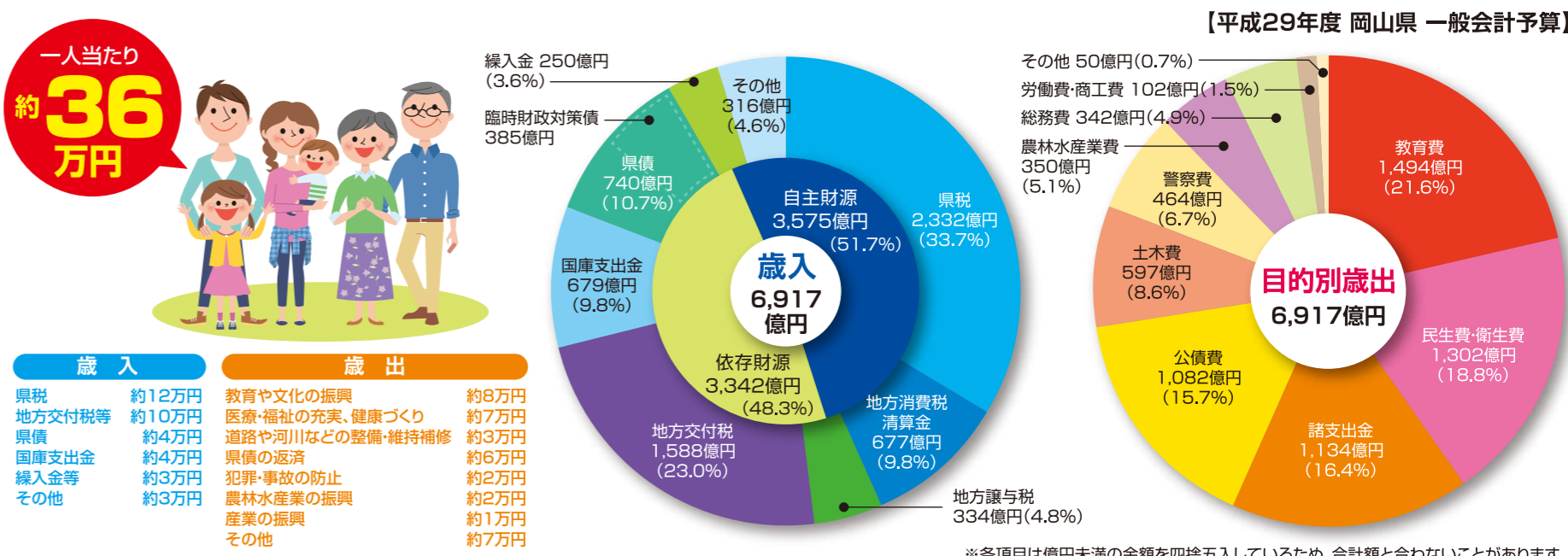
〔設置に伴う許認可等〕

県北では、多数のゴルフ場が閉鎖され、閉鎖されたゴルフコースにメガソーラーの設置が進められているが、周辺環境への影響があり、設置までに地元自治体や住民との協議も必要だ。ゴルフ場跡地の利用や森林の伐採など、メガソーラー建設に伴う許認可等でクリアしなければならぬ法令には、どんなものがあるのか、環境文化部長に伺いたい。

〔環境文化部長答弁〕

メガソーラーの設置に当たり、一定規模以上の開発行為を伴うものについては、その土地等の状況に応じて、森林法や県土保全条例のほか、建築基準法や都市計画法、土壌汚染対策法等が適用され、また、自然環境保護の観点から自然保護条例に基づく協定の対象となる場合もあ

【平成29年度 岡山県 一般会計予算】



〔規制事例等〕

メガソーラーは、本県では環境アセスメントの対象としていないが、長野県は、自然環境を守りながら再生可能エネルギーの導入量を拡大するため、条例を改正し、太陽光発電設備等に環境影響評価手続きを義務付けた。また真庭市が自然環境等との調和に関する条例を制定し開発に歯止めをかけている事例があるが、他県や県内市町村でこうした動きはあるか。現在の状況と併せて所見を環境文化部長に伺いたい。

〔環境文化部長答弁〕

県内市町村の取組として承知しているのは、お話の真庭市の事例のみですが、長野県と同様に環境影響評価の対象としている自治体としては、神戸市や福岡市等があります。メガソーラーの設置に当たっては、関係法令の許可手続きを適切に行いながら、それぞれの地域の実情に応じた対応することも肝要であることから、現時点では、県として律の規制や基準を設けることは考えておりませんが、県内市町村に対し、他の自治体の事例を情報提供するなど、助言に努めてまいりたいと存じます。

〔所見〕

県が発行計画を十分把握できないまま、中山間地に大規模な太陽光発電が次々にできると、台風等での土砂の流出や粗悪な工事等により、パネルの崩壊等、近隣住民が被害を受ける可能性も大きい。その責任は事業者だが、企業倒産の危険性もあり、最終的に責任は県に向けられるのではないかと。また、国の制度の整備不足もあり、国に対して不安の声を上げてほしいが、併せて所見を伺いたい。

〔知事答弁〕

所見についてですが、県としての責任は二義的には、所管する法令等に基づく根拠の範囲内になるものと認識しておりますが、議員お話の御懸念も十分理解できるところであり、今後とも、地域の貴重な自然や住民の生活に悪影響を及ぼすことのないよう、市町村とも連携を密にし、情報共有しながら適切に対応してまいりたいと存じます。

また、国に対しては、全国国会を通じて制度の改善等を要請してきたところであり、引き続き、地域の実情や課題を踏まえた意見をしっかりと伝えてまいります。

